

1/22

居久根伐採で失われた大杉を記念保存 大久保・外内行政区



▲上棟を祝う餅まきが行われた他、手打ちの蕎麦も振る舞われました

大久保・外内行政区の高野家(高野吉邦さん宅)の居久根「清水の大杉と藤」は、村指定文化財として管理保存されてきましたが、原発被災の影響で、平成26年6月にやむなく伐採されました。大杉は推定樹齢400年とも言われ、かつては根元に湧く清水で酒造が行われていました。また、大杉に寄り添う藤の大木も、花の名所とされ訪れる人の目を楽しませてきました。区では、代々守り育ててきたにも関わらず伐採せざるを得なかった居久根の象徴として、大杉の一部を保存しようと話し合い、収容施設の整備に乗り出しました。この日は多くの区民が集まり、その上棟式を行いました。

村の物産と味をPR 「ふくしま大交流フェア」

12/23

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします

村は、「東京国際フォーラム」(東京都千代田区)で開催された「ふくしま大交流フェア」に出展し、どぶろくや「ごんぼっば餅」、カボチャ「いいたて雪っ娘」の加工食品など、村の特産品を紹介しました。このイベントは福島県・東京都の共催で、県内の約100団体が出展。ゆかりの著名人も来場し、福島のグルメ・物産・風景・人などの魅力を広く発信しました。村のブースでは商品の試食・試飲が人気を集め、多くの来場者に村の味をPRすることができました。

味自慢の商品の他、布ワラジや手提げなど村の皆さんが手作りした布製品も並びました▶



1/8 避難から6回目の出初式



▲避難先から参集する出初式も6回目となりました。機敏な動作で整列する一同

飯館村消防団が、飯館中学校の仮設体育館で出初式を行い、本年の消防活動へ決意を新たにしました。式には、避難先から駆け付けた消防団員・女性消防隊と村役場消防隊、合わせて105人が参加。あいさつに立った関係各位が、長期化した避難の中で活動を続ける団員らに感謝を伝え、激励しました。団員らは、引き締まった表情で観閲に臨み、帰村に向けた事業が進む村内の防火・防災に一層努めていくことを確認しました。また、優良消防団員と永年勤続章の表彰も行われました。

福島第一原子力発電所を有志が視察

1/20

「村の大部分で避難指示が解除されることになった私達にとって、福島原発の現状を知るとはとても重要」。菅野クニさん(宮内)らのこうした呼びかけで、村民有志が、福島原発を視察しました。今回参加した村民は14人。役場で門馬副村長と懇談し、村職員らも同行してバスで出発。改修する飯館中学校を見学し、その後、東京電力福島第一原子力発電所に向かいました。現地では、事故を起こした原子炉建屋もバスの車窓から見るなどして、廃炉作業の現状を視察しました。



▲現地職員から説明を聞く一行。「現状と合わせて今後の課題も知ることができました」▲

1月の村の動きと主なできごと

- 4日・村役場 仕事始めの式(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・村消防団 出初式(飯館中学校仮設体育館)
・平成29年飯館村成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・仮設住宅・公的宿舎等管理人会議(飯野支所)
- 11日・第2回までいな絆実行委員会(村役場本庁)
- 12日・「食を考える会」養成講座閉講式(飯野支所)
- 15日・いいたて村民ふれあい集会(福島市・パルセイイざか)
- 18・19日・村議会総務文教常任委員会所管調査(宮城県気仙沼市他)
- 19・20日・村議会産業厚生常任委員会所管調査(千葉県袖ヶ浦市他)
- 22日・北塩原村雪っこ体験事業(裏磐梯スキー場)
- 23日・第1回農業委員会定例総会(村役場本庁議場)
- 25日・村議会第1回臨時会(村役場本庁議場)
・営農再開検討会議(村役場本庁)
- 26日・定例教育委員会(村役場本庁)
- 28日・農業者等の意見交換会(つきだて花工房)
- 29日・文化財防火デー 消防訓練(大雷神社)
- 31日・学校運営協議会(飯野支所)
・松川雇用促進住宅飯館自治会懇談会(松川雇用促進住宅集会所)
・松川第二仮設住宅飯館自治会懇談会(松川第二応急仮設住宅集会所)